

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 中央化学株式会社

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宇川 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 森本 和宣

TEL 048-540-2624

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	14,144	△19.2	330	—	282	△1.9	205	—
21年12月期第1四半期	17,513	△7.3	16	—	287	—	△520	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	10.19	—
21年12月期第1四半期	△29.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	49,779	10,703	21.5	531.21
21年12月期	52,958	10,470	19.8	519.65

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 10,703百万円 21年12月期 10,470百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	30,700	△17.5	1,100	△27.8	700	△53.1	250	—	12.41
連結累計期間	65,800	△12.9	2,900	△29.2	2,200	△27.1	1,000	—	49.63

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	21,040,000株	21年12月期	18,540,000株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	890,832株	21年12月期	890,832株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	20,149,168株	21年12月期第1四半期	17,649,168株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現在当社が入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国向け輸出の回復やエコポイントなどの政策支援の恩恵を受けた業種で景気に一部持ち直しの動きがみられるものの、全体的に民間設備投資や雇用・所得環境は依然として厳しく、デフレの影響も懸念されるなど、先行きに不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社グループにおける国内では、昨年度において実施した不採算取引の是正・縮小策による影響、製品の薄肉化や軽量化による原材料費削減を継続して推進した結果、当第1四半期における単体業績は、売上高13,049百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益251百万円（前年同期比268.9%増）、経常利益176百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

アジアは、内外の景気に支えられて回復傾向を強めており、特に中国では国内政策に支えられ農業や交通インフラ、環境・省エネ等に対する投資が顕著に推移し、個人消費も底堅い状態にあります。このような状況の中、中国子会社による売上高は、中国事業再編を視野に入れた重慶中央化学の清算により前年同期比で減収となりましたが、営業利益・経常利益は前年同期から大幅に収益改善致しました。この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、従来連結子会社であったC&M FINE PACK, INC. が連結対象外になったことや（平成21年11月、同社の全株式を譲渡）、業績低迷が続いておりました重慶中央化学有限公司の清算・操業停止などから売上高が14,144百万円（前年同期比19.2%減）となりましたが、営業利益では330百万円となり前年同期に比較し313百万円改善いたしました。一方、経常利益では為替差益幅の減少などから前年同期比5百万円減の282百万円となりました。なお、当社グループの売上高は、第1四半期から第4四半期へと進むに伴い、その金額割合が大きくなる為、各四半期の業績には著しい季節的変動があり、特に第1四半期の売上高及び利益は、他の四半期に比べ低くなる傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金が1,808百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ3,179百万円減少し49,779百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が2,170百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,412百万円減少し39,075百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益205百万円等により、前連結会計年度末に比べ232百万円増加し10,703百万円となり、自己資本比率は21.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,153百万円減少し、6,268百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費655百万円、売上債権の減少1,899百万円があった一方、仕入債務の減少2,186百万円等があり、449百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得399百万円等があり、425百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の減少112百万円やリース債務の減少254百万円等があり、309百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回(平成22年2月12日発表「平成21年12月期 決算短信」)の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部を除いて実地棚卸高を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間において、営業外収益の「雑収入」と「その他」として掲記されていたものは、「その他」に統一して表示しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「雑収入」は46,655千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,268,929	7,422,286
受取手形及び売掛金	10,152,903	11,961,329
商品及び製品	6,046,787	6,051,188
仕掛品	651,523	693,998
原材料及び貯蔵品	1,255,242	1,148,485
繰延税金資産	178,153	276,532
その他	1,607,490	1,607,944
貸倒引当金	△89,762	△193,188
流動資産合計	26,071,268	28,968,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,021,448	7,088,088
機械装置及び運搬具(純額)	3,795,282	3,917,987
土地	4,913,042	4,912,851
リース資産(純額)	2,695,620	2,905,911
建設仮勘定	241,199	144,613
その他(純額)	1,090,734	1,069,861
有形固定資産合計	19,757,328	20,039,313
無形固定資産		
リース資産	40,631	45,310
その他	399,846	405,044
無形固定資産合計	440,477	450,354
投資その他の資産		
投資有価証券	340,484	307,230
長期貸付金	225,060	229,176
破産更生債権等	10,158,059	10,163,596
繰延税金資産	1,843,497	1,762,630
その他	339,298	336,990
貸倒引当金	△9,396,266	△9,299,083
投資その他の資産合計	3,510,134	3,500,540
固定資産合計	23,707,940	23,990,208
資産合計	49,779,209	52,958,785

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,075,324	13,245,522
短期借入金	18,337,095	18,293,406
リース債務	913,524	967,398
未払金	2,181,072	2,678,769
未払法人税等	29,029	196,264
未払消費税等	102,099	489,039
繰延税金負債	4,393	4,490
賞与引当金	124,283	—
海外事業等再編引当金	631,314	657,885
その他	1,053,920	1,069,966
流動負債合計	34,452,056	37,602,743
固定負債		
長期借入金	1,515,260	1,600,780
リース債務	1,955,403	2,115,672
繰延税金負債	9,573	9,615
退職給付引当金	458,161	435,100
役員退職慰労引当金	25,040	88,050
債務保証損失引当金	490,000	440,000
その他	170,339	196,360
固定負債合計	4,623,778	4,885,578
負債合計	39,075,834	42,488,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212,750	6,212,750
資本剰余金	5,787,143	8,259,959
利益剰余金	329,203	△2,349,018
自己株式	△1,169,190	△1,169,190
株主資本合計	11,159,905	10,954,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,695	△5,615
繰延ヘッジ損益	11,203	△3,108
為替換算調整勘定	△465,039	△475,311
評価・換算差額等合計	△456,531	△484,035
純資産合計	10,703,374	10,470,464
負債純資産合計	49,779,209	52,958,785

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	17,513,025	14,144,574
売上原価	13,771,538	11,004,701
売上総利益	3,741,487	3,139,872
販売費及び一般管理費	3,724,669	2,809,307
営業利益	16,817	330,565
営業外収益		
受取利息	282	1,855
受取配当金	228	3,637
為替差益	423,397	42,711
その他	87,126	69,267
営業外収益合計	511,034	117,472
営業外費用		
支払利息	154,433	117,931
手形売却損	26,467	12,772
売上割引	26,352	24,298
その他	32,638	10,505
営業外費用合計	239,892	165,508
経常利益	287,959	282,529
特別利益		
前期損益修正益	57,736	50,164
固定資産売却益	—	756
貸倒引当金戻入額	10,500	109,384
役員退職慰労引当金戻入額	259,940	—
その他	226	45
特別利益合計	328,403	160,350
特別損失		
前期損益修正損	5,318	—
固定資産除売却損	116	9,686
投資有価証券評価損	4,237	1,046
投資有価証券売却損	300	—
早期割増退職金	4,924	—
債務保証損失引当金繰入額	—	50,000
貸倒引当金繰入額	850,000	150,000
リース会計基準の適用に伴う影響額	101,307	—
たな卸資産評価損	210,324	—
その他	—	6,681
特別損失合計	1,176,530	217,414
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△560,167	225,466

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	△12,169	12,404
法人税等調整額	△12,052	7,655
法人税等合計	△24,222	20,060
損失負担契約に基づく当社及び連結子会社以外の者 への振替額	12,701	—
少数株主損失(△)	△2,307	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△520,936	205,406

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△560,167	225,466
減価償却費	1,009,757	655,633
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	50,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	800,527	△9,912
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,759	23,061
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△273,890	△63,010
受取利息及び受取配当金	△510	△5,493
支払利息	154,433	117,931
為替差損益(△は益)	△138,376	△5,500
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	4,537	1,046
有形固定資産除却損	116	9,686
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△756
売上債権の増減額(△は増加)	5,167,625	1,899,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,137,349	△53,679
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,039,708	△2,186,638
未払消費税等の増減額(△は減少)	33,988	△387,231
その他	△280,670	△478,089
小計	2,045,771	△208,186
利息及び配当金の受取額	△156	5,192
利息の支払額	△157,875	△119,903
法人税等の支払額	△77,449	△126,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810,291	△449,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△335,639	△399,829
固定資産の売却による収入	28,762	4,405
投資有価証券の取得による支出	△2,444	△31,379
投資有価証券の売却による収入	1,047	—
貸付金の回収による収入	2,100	2,700
その他	75,042	△1,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,131	△425,323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,360,643	57,699
長期借入金の返済による支出	△260,604	△112,720
リース債務の返済による支出	△413,221	△254,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,034,468	△309,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,167	31,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△383,140	△1,153,356
現金及び現金同等物の期首残高	2,252,843	7,422,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,869,702	6,268,929

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	13,727,705	2,678,288	1,107,032	17,513,025	—	17,513,025
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,667	425	338,412	401,505	(401,505)	—
計	13,790,372	2,678,713	1,445,444	17,914,531	(401,505)	17,513,025
営業利益又は 営業損失(△)	142,860	△2,521	△146,915	△6,576	(△23,394)	16,817

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- ① 北米・・・アメリカ
- ② アジア・・・中国

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	13,111,944	—	1,032,629	14,144,574	—	14,144,574
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,074	—	326,703	365,777	(365,777)	—
計	13,151,018	—	1,359,332	14,510,351	(365,777)	14,144,574
営業利益又は 営業損失(△)	369,608	△14,048	82,410	437,970	(107,404)	330,565

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- ① 北米・・・アメリカ
- ② アジア・・・中国

3. 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc. は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外となっております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)		
	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,684,344	1,291,890	3,976,235
II 連結売上高(千円)			17,513,025
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.3	7.4	22.7

- (注) 1 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。
- 2 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- 3 各区分に属する主な国又は地域
- ① 北米・・・アメリカ
 - ② その他の地域・・・中国・ヨーロッパ

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)		
	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,418,308	52,357	1,470,665
II 連結売上高(千円)			14,144,574
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.0	0.4	10.4

- (注) 1 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。
- 2 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- 3 各区分に属する主な国又は地域
- ① アジア・・・中国
 - ② その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ
- 4 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc. は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外となっております。その結果、北米地域の売上高が減少したことで、「その他の地域」に含めております。
- 5 従来、アジア売上は「その他の地域」に含めて表示しておりましたが、連結売上高の10%以上となったため、「アジア」として区分掲記しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

当社は、平成22年2月19日開催の取締役会における剰余金処分決議に基づき、資本剰余金から利益剰余金へ2,472百万円振替え、欠損金の填補を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,472百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。